

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えし、また医療の進歩に寄与すべく絶えず検査領域の拡大に努めておりますが、このたび、下記項目の検査受託を開始することになりましたので、ご案内申し上げます。

ご利用の程、宜しく願い申し上げます。

敬具

(記)

- 検査項目 淋菌核酸同定<<リアルタイムPCR>>
クラミジア・トラコマチス核酸同定<<リアルタイムPCR>>
淋菌およびクラミジア・トラコマチス核酸同定<<リアルタイムPCR>>

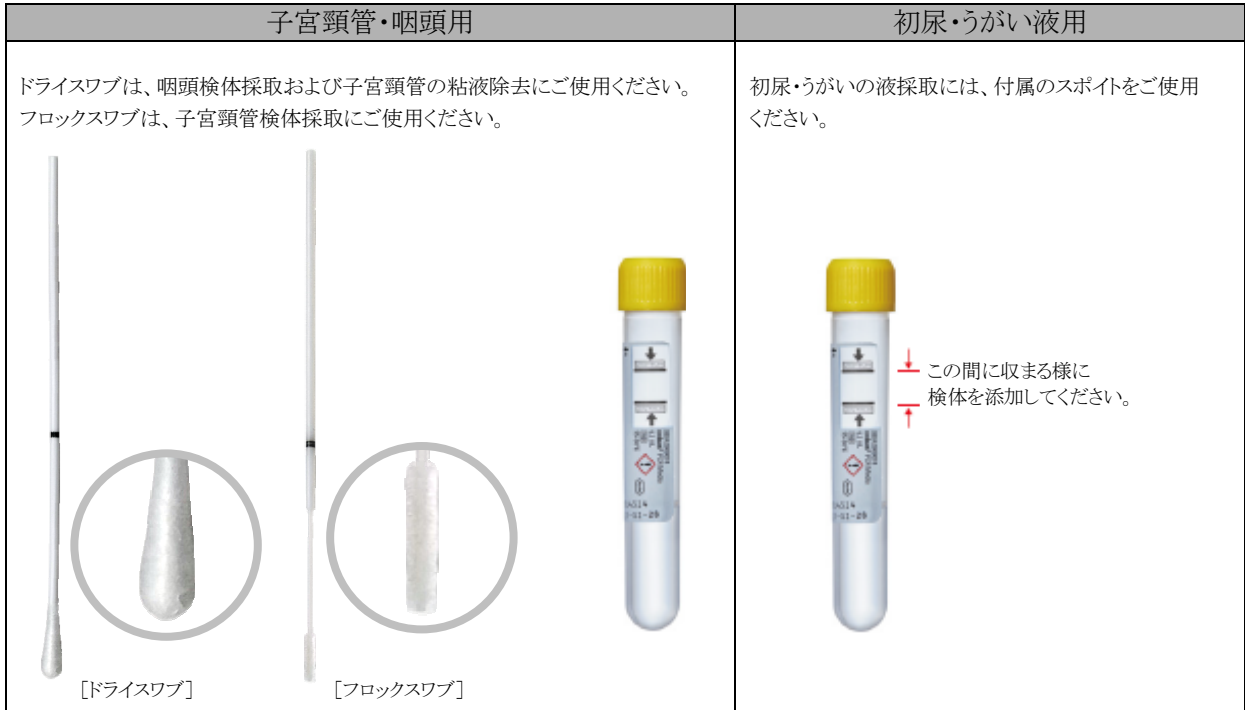
- 受託開始日 令和3年3月29日(月) 受付分より

■ 検査要項

検査項目名	淋菌核酸同定	クラミジア・トラコマチス核酸同定	淋菌およびクラミジア・トラコマチス核酸同定
材料・保存	ぬぐい液・冷蔵 [340] 咽頭 ・冷蔵 [2331] 初尿 ・冷蔵 [344] うがい液・冷蔵 [2332]	ぬぐい液・冷蔵 [127] 咽頭 ・冷蔵 [2329] 初尿 ・冷蔵 [126] うがい液・冷蔵 [2330]	ぬぐい液・冷蔵 [2510] 咽頭 ・冷蔵 [2333] 初尿 ・冷蔵 [2511] うがい液・冷蔵 [2334]
容器 ※1・2	②淋菌/クラミジア・トラコマチス核酸同定容器	②淋菌/クラミジア・トラコマチス核酸同定容器	②淋菌/クラミジア・トラコマチス核酸同定容器
検査方法	リアルタイムPCR	リアルタイムPCR	リアルタイムPCR
基準値	検出せず	検出せず	検出せず
所要日数	2日	2日	2日
実施料	204点 [D023 3]	198点 [D023 2]	278点 [D023 5]
判断料	150点 微生物学的検査	150点 微生物学的検査	150点 微生物学的検査
備考	※1. “④クラミジア・淋菌SDA容器”での、検査受託はできません。 ※2. 容器のご注文につきましては、弊社営業担当または総合インフォメーションまでお申し付けください。 ※3. 「淋菌核酸同定<<SDA>>」「クラミジア・トラコマチス核酸同定<<SDA>>」「淋菌およびクラミジア・トラコマチス同時検査<<SDA>>」につきましては、令和3年3月27日受付分をもちまして、検査受託を中止させていただきます。 なお、総合検査依頼書の依頼チェック欄につきましては、令和3年3月29日より当該検査(リアルタイムPCR)の依頼としてご使用いただけます。		

No. 21-06

■ ②③淋菌/クラミジア・トラコモナス核酸同定容器 (添加剤: 塩酸グアニジン)



■ リアルタイムPCR法とSDA法の相関

[淋菌]

ぬぐい液		SDA法			咽頭		SDA法			初尿		SDA法		
		検出せず	(+)	総計			検出せず	(+)	総計			検出せず	(+)	総計
リアルタイム PCR法	検出せず	49	5	54	リアルタイム PCR法	検出せず	34	3	37	リアルタイム PCR法	検出せず	38	7	45
	(+)	1	45	46		(+)	0	13	13		(+)	1	48	49
	総計	50	50	100		総計	34	16	50		総計	39	55	94
陽性一致率: 90.0%				陽性一致率: 81.3%				陽性一致率: 87.3%						
陰性一致率: 98.0%				陰性一致率: 100.0%				陰性一致率: 97.4%						
全体一致率: 94.0%				全体一致率: 94.0%				全体一致率: 91.5%						
(社内検討データ)				(社内検討データ)				(社内検討データ)						

[クラミジア・トラコモナス]

ぬぐい液		SDA法			咽頭		SDA法			初尿		SDA法		
		検出せず	(+)	総計			検出せず	(+)	総計			検出せず	(+)	総計
リアルタイム PCR法	検出せず	49	0	49	リアルタイム PCR法	検出せず	38	2	40	リアルタイム PCR法	検出せず	42	2	44
	(+)	1	50	51		(+)	0	10	10		(+)	7	43	50
	総計	50	50	100		総計	38	12	50		総計	49	45	94
陽性一致率: 100.0%				陽性一致率: 83.3%				陽性一致率: 95.6%						
陰性一致率: 98.0%				陰性一致率: 100.0%				陰性一致率: 85.7%						
全体一致率: 99.0%				全体一致率: 96.0%				全体一致率: 90.4%						
(社内検討データ)				(社内検討データ)				(社内検討データ)						

参考: SDA法で実施後の検体を、コバスPCRメディアで等量混和し測定

■ 参考文献

- Higuchi, R. et al. Simultaneous amplification and detection of specific DNA sequences. *Biotechnology (N Y)*. 1992, 10, p.413~417.
- Heid, C.A. et al. Real time quantitative PCR. *Genome Research*. 1996, 6, p.986~994.
- Longo, M.C. et al. Use of uracil DNA glycosylase to control carry-over contamination in polymerase chain reactions. *Gene*. 1990, 93, p.125~128.

以上